

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【愛媛県】

学校名【松山市立湯築小学校】

| | |
|--------------------|--|
| 1 実践テーマ | ①・II・③・IV・V（複数選択可） |
| 2 実施対象者 (学年・人数) | 松山市立湯築小学校（第4学年・90名） |
| 3 展開の形式 | <p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p> |
| 4 目標 (ねらい) | <p>○ オリンピック・パラリンピックへの理解を深め、スポーツに対する興味・関心（する・みる・ささえる）を育む。</p> <p>○ 共にパラスポーツを体験したり、パラリンピアンを経験談を聞いたりする活動を通して、誰もが夢と希望をもって、生き生きと活躍する社会を大切にしようとする態度を養う。</p> |
| 5 取組内容 | <p>1 オリンピック・パラリンピックに関する紹介</p> <p>○ 体育委員会が全校児童に向けて、オリンピック・パラリンピックの意義や歴史、日本人の活躍などについて紹介した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>オリンピックって何？</p> <p>○ 夏と冬のオリンピックが1896年にギリシアのアテネで、陸上、テニスなどの8つの競技が行われ、それがきっかけで、近代オリンピックの父・ピエール・ド・クーベルタンが「スポーツを通じて個人がよって、世界平和がつけられる」と提案しました。</p> <p>○ 「スポーツ・文化」+「</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>オリンピック・パラリンピックに興味をもとう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通して、互いの文化を尊重し、平和な世界にしようとするオリンピック・パラリンピックにもっと興味をもとう！ ・たくさんの競技があり、いろいろなスポーツに親しもう！ ・道後温泉には、たくさんの観光客が来ます。→ さまざまな国の文化を大切にできるゆづきっ子になろう！ ・湯築小学校ができた年が、なんと前回の東京オリンピックが開催された1964年！！ </div> <p>2 「あすチャレ！スクール体験プログラム」の実施</p> <p>○ 講師（パラリンピアン 根木 慎志氏【元男子車いすバスケットボール日本代表】より自己紹介と「あすチャレ！スクール」の紹介をしていただいた。</p> <p>○ 代表児童による車いすバスケットボール体験（シュート）を行った。</p> <p>○ 全児童による車いすリレーを行った。</p> |

- 講師の体験談や夢をもつことの大切さに関する講話を聞いた。



- 3 「あすチャレ！」宣言シート及び「応援フラッグ」の作成
- 「あすチャレ！」宣言シートに活動の感想や将来に向けて考えたことを記入した。
 - 東京パラリンピック出場選手への応援メッセージを記入して「応援フラッグ」を作成した。



6 主な成果

「あすチャレ！スクール事業」を活用したパラリンピアンとの交流を通して、児童一人一人がオリンピックやパラリンピックの意義や夢をもつことの大切さに対する理解を深めることができた。また、友達に対する思いやりをもつことを始め、多様な人と共生社会を築いていこうとする態度を養うことができた。その後の目が不自由な方との交流や高齢者体験などにも意欲的に取り組んだ。

また、応援フラッグの作成を通して、東京オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が非常に高まった。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

新型コロナウイルス感染症対策を講じ、活動内容を変更するなど、3密にならない場の設定に努めた。また、「あすチャレ！スクール事業」を活用するために、担当者との連絡を密にし、活動の充実を図った。

| | |
|------------------|---|
| 8 主な課題等 | 特になし |
| 9 来年度以降の 実施予定 | パラリンピアンとの交流を通して、共生社会の実現に対する意欲が高まった。今後も障がいのある人との直接的な交流を通して、意欲や態度の育成を図っていく。 |